

沼ノ端クリーンセンター外昇降機保守点検業務仕様書

(目的)

第1条 本仕様書は、苫小牧市(以下「委託者」という。)が沼ノ端クリーンセンター外昇降機保守点検業務の仕様を定めることを目的とする。

(業務の履行)

第2条 業務受託者(以下「受託者」という。)は、委託業務を円滑に遂行するとともに契約書及び本仕様書等に従い、委託業務を誠実に完全に履行するものとする。

(委託業務の内容)

第3条 委託者が、受託者に委託する業務内容は、別紙1のとおりとする。

(機器の修繕)

第4条 受託者は、点検時に故障を発見し、修繕を要すると認められる場合において、部品を交換する必要があるとき又は特別の資材を使用する必要があるときは、委託者に見積書を提出し、委託者の承認を受けて当該エレベーターの修繕を行うものとする。

(業務の報告等)

第5条 受託者は下記報告書を速やかに提出するものとする。

1. 遠隔・定期点検の保守点検等報告書を翌月当初までに提出し、委託者の承認を受けること。

また、点検時に、このまま放置した場合には修繕を要することが予測される不具合を発見した場合、保守点検等報告書に記載しなければならない。

2. 故障発生時や修繕を実施した時には、各種報告書を早急に提出し、委託者の承認を受けること。

3. 建築基準法第12条第3項に基づく定期検査実施後には、以下の書類を提出すること。

1) 定期検査報告書

2) 定期検査報告概要書

3) 検査結果表

4) 別添1(関係写真(主索、鎖及びブレーキパッド))

5) 別添2(関係写真(主索、鎖及びブレーキパッド以外))

4. 本契約に含まれていない部分の交換等を要することとなったとき、又は事故が発生したときは、直ちに委託者に文書で報告すること。

(作業時間)

第6条 受託者が行う作業時間については、次のとおりとする。

1. 受託者は、遠隔・定期点検業務は、受託者の就業時間(通常勤務日の勤務時間)内に行うこと。

2. 故障及び事故の時には、受託者の就業時間に関係なく迅速に対応すること。

(対象外作業)

第7条 受託者の委託対象外作業は、次のとおりとする。

1. 意匠関係工事、巻上機又は駆動機の一式取替工事。
2. 修理及び取替えに必要な建築工事及び電気配管配線工事。
3. 諸法規の改正又は官公署の命令若しくは要求による設備の改善又は新規付属物追加に関する工事。
4. 昇降機周壁等建設関係の補修工事。
5. 供給電源設備及び機械室内建物付属設備（照明設備、換気装置、地震感知器及び煙感知器等）の補修工事。
6. 受託者の責に帰さない事由（第三者の行為、委託者の過失等）によって発生した対象機器の機能低下・不全、異常、故障等に対する部品の修理及び取替え。

(専用電話回線及び遠隔監視装置)

第8条 専用電話回線及び遠隔監視装置については、次のとおりとする。

1. 遠隔監視装置・電話加入権は、受託者の所有とし、受託者が設置するものとする。
2. 遠隔監視に必要な電話料金は、受託者にて負担するものとする。

(環境への配慮)

第9条 受託者は、2050年ゼロカーボンシティ実現のため、次の取組に努めること。

- (1) 苫小牧市役所エコオフィスプランに基づく取組を推進すること。
- (2) 環境に配慮した商品・サービスの購入（グリーン購入）を推進し、また、廃棄に当たっては資源の有効活用や適正処理を図ること。
- (3) 省エネルギー活動に関する取組を推進すること。
- (4) 廃棄物の減量・リサイクルに関する取組を推進すること。

(その他)

第10条 沼ノ端クリーンセンター敷地内での、喫煙にあたる行為を禁止とする

第11条 本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて委託者及び受託者が協議し定めるものとする。

(別紙 1)

業務内容

1. 設備の所在地及び名称

- (1) 所在地 苫小牧市字沼ノ端 2 番地の 2 5
- (2) 名称 沼ノ端クリーンセンター外昇降機保守点検業務
 - ・沼ノ端クリーンセンター：5 F 2 基（ロープ式エレベーター）
 - ・J F E リサイクルプラザ苫小牧：2 F 1 基（油圧式エレベーター）
- (3) 履行期間 令和 7 年 6 月 1 日～令和 8 年 5 月 31 日

2. 業務内容

(1) 定期点検

ア 定期点検は、次の方法にて実施するものとする。

毎月 1 回以上定期的に専門技術者を派遣し、昇降機各部の点検清掃、給油、調整を行うこと。

ただし、遠隔監視点検の実施が可能な場合は、毎月 1 回以上遠隔監視点検を実施し、かつ、3 か月に 1 回定期的に専門技術者を派遣し、昇降機各部の点検清掃、給油、調整を行うこと。

イ 点検、確認項目は下記のとおりとする。

- (ア) 制御機器動作状態
- (イ) かご走行状態
- (ウ) 着床状態
- (エ) かご戸スイッチ動作状態
- (オ) のりば戸スイッチ動作状態
- (カ) インターホン（通話・発報）動作状態
- (キ) 呼びボタン動作状態

エ 状態変化が生じた場合には、状況を確認し、迅速かつ適切な処置を施し、委託者に対して報告すること。

(2) 法定点検

年 1 回建築基準法第 1 2 条第 3 項の規定に基づく定期検査を行うこと。

(3) 異常時の対処

受託者は上記の定期点検以外であっても、委託者がエレベーターの異常を認めて受託者に通知したときは、直ちに定期点検と同様の措置を行わなければならない。

(4) 遠隔監視

ア 昇降機の異常を感知するため、遠隔監視装置を設置し、エレベーターの運転状況と異常状態の発生及び復帰を下記の項目について 24 時間常時監視すること。

(ア) 閉じ込め

(イ) 起動不能

(ウ) 電源異常

(エ) 制御装置異常監視

(オ) 遠隔監視装置異常

イ 地震時管制運転、火災時管制運転、停電時自動着床運転の監視等の実施については、別途委託者及び受託者が協議し定めるものとする。

ウ 状態変化が生じた場合には、状況を確認し、迅速かつ適切な処置を施し、委託者に対して報告すること。

エ 常時遠隔監視にてエレベーターでの異常状態が確認された場合には、受託者の監視施設より対象となるエレベーターかご内に問い掛け、閉じ込め等が無いかを必ず確認すること。そのためには、エレベーターかご内と直接通話する機能を確保すること。

3. 点検方法の契約

(1) 本契約は POG 契約とし、交換部品の範囲は次のとおりとする。

(ア) 各種ボルト、ナット、ビス等

(イ) 各表示用電球、ヒューズ、電磁接触器接点、かご内蛍光灯

(ウ) 補充用油脂類（ギア用、マシン油、グリス類）、ウエス

(2) 受託者は、前項（1）の消耗部品は、エレベーターの純正部品を供給すること。

4. 点検の範囲、基準等

(1) 定期点検の範囲、点検方法等は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」に基づき点検する。

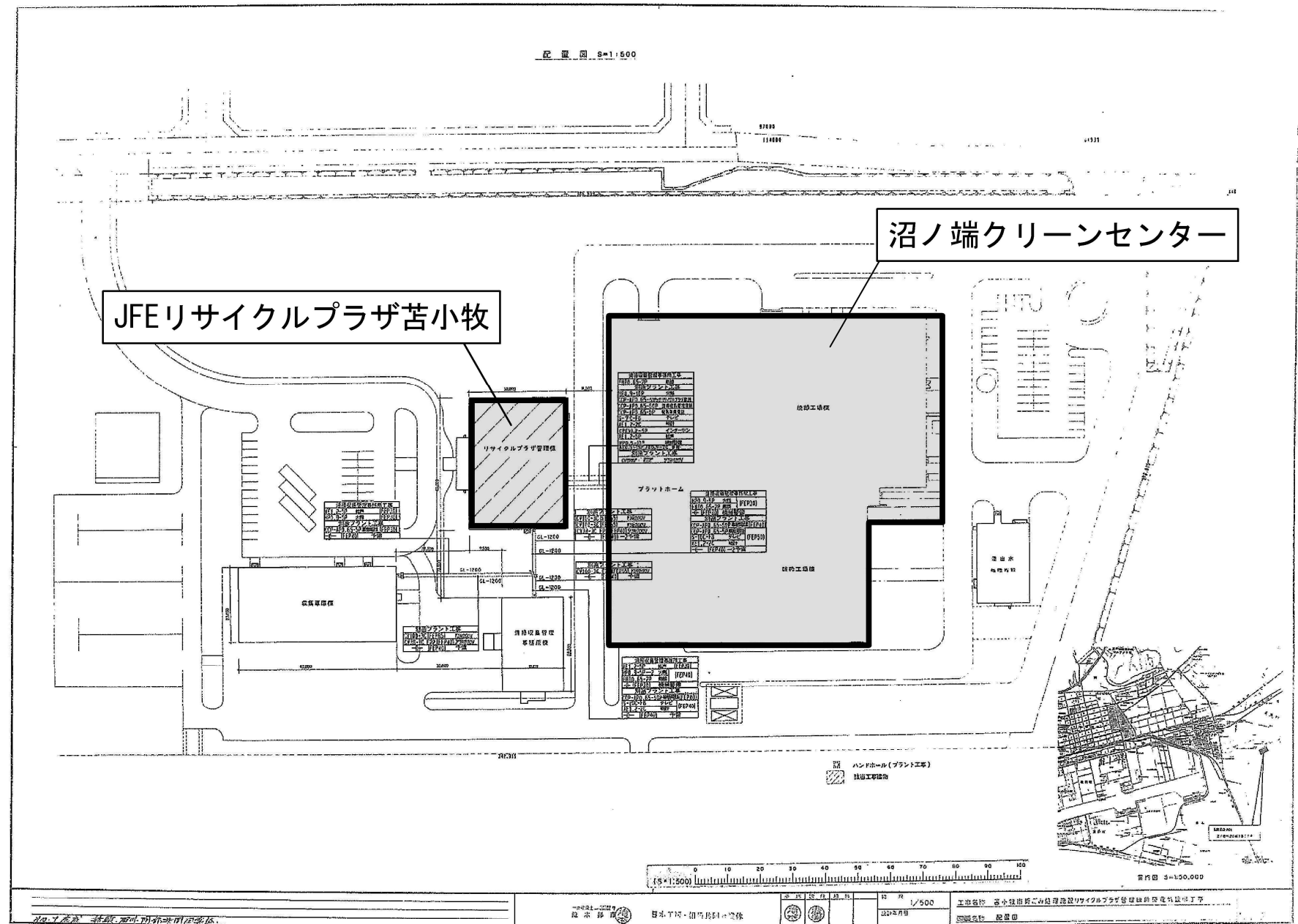
(2) 法定点検の範囲、基準等は財団法人日本建築設備・昇降機センターで定めている「昇降機定期点検業務基準」によるものとし、業務委託後、速やかに実施するものとする。

(3) エレベーターの点検及び調整には、通常に使用する場合に生じる磨耗、劣化による範囲における構成部品の修理又は取り替えを含むものであること。

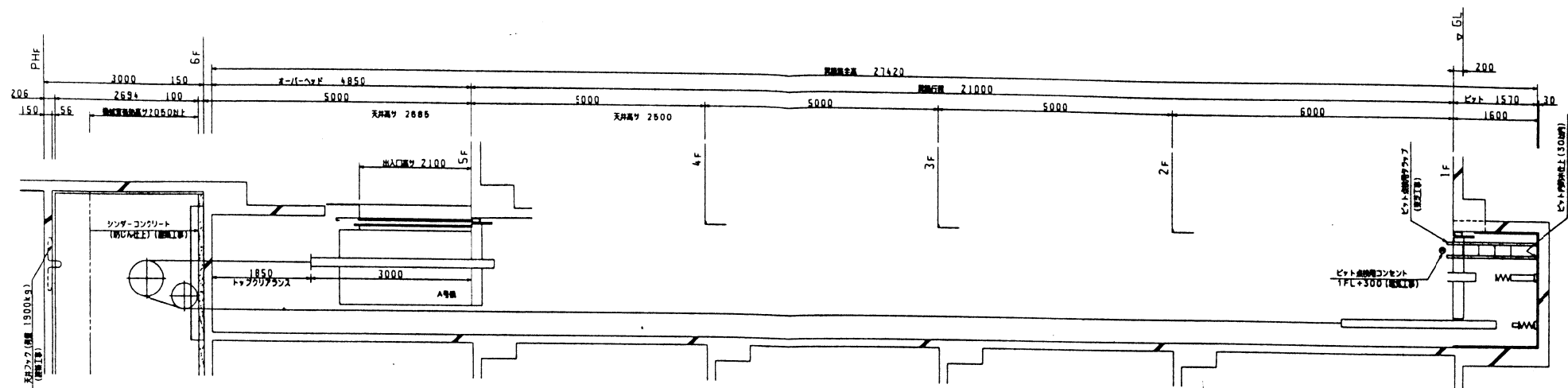
5. 報告

(1) 故障発生時には、遠隔にて故障分析のためのデータを収集し、委託者に報告すること。

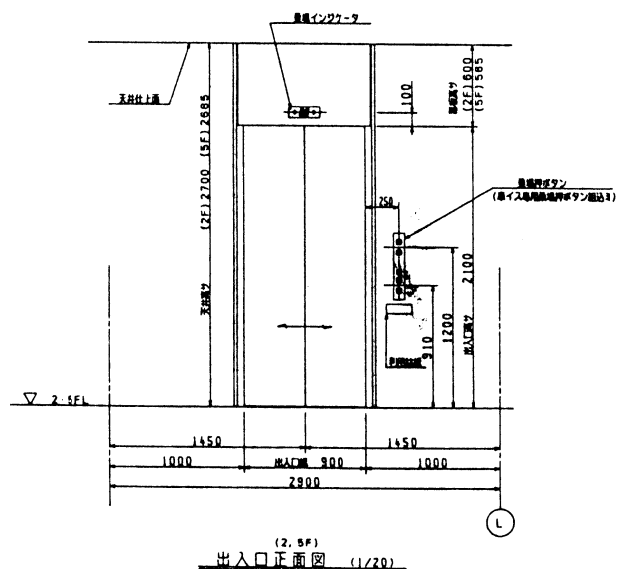
(2) 本契約に含まれていない部分の交換等を要することとなったとき、または事故が発生したときは、直ちに委託者に文書で報告するものとする。



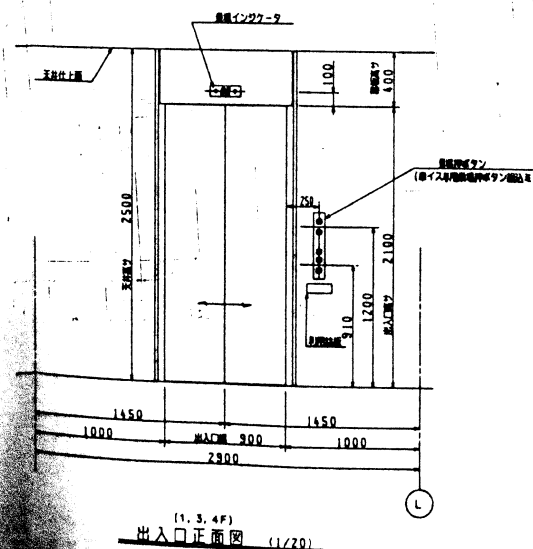
エレベーター搭載棟 位置図



A号
昇降路縱断面图 (1/40)

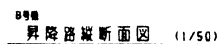


(2.5F)
出入口正面図 (1/20)



(1. 3. 4F)
出入口正面図 (1/20)

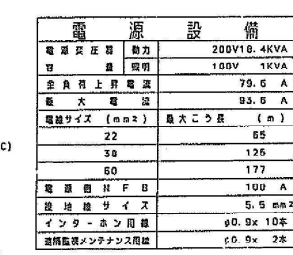
工事番号	EL-3332	保証会社名	吉小牧市役所蔵
発注者	利根川	工事名称	吉小牧市新ごみ処理施設 （焼却・破砕）建設工事
得意先	利根川	関係会社	
設計者	利根川	昇降機設備 A号機 新国産	
製図部	利根川		
リベリングニアソンズ株式会社 群馬県伊勢崎		写真	図面番付
NKK 日本鋼管株式会社		製造番号	DG-R-EL-105



2号機 断面詳細図

1. 機械室内の換気装置の設備工事
換気設備は消火方式とし、機械室内機器による発生熱量は毎時
2649 kcalに付、室温40℃以上になるよう配慮下さい。

2. 法令上必要な消火設備を設置下さい。



青森県内道はカゴ守道に對して最小寸法にて設計されていますので青森道の施工寸法は鈴鹿において30mm以内にてご施工願います。

署名 SIGNED _____ 姓

日付 DATE _____

検査官の氏名 HG01604

建物名 BUILDING 志の岐收费站の南側建設事務所リサイクルプラザ管理棟

[illegible]

3号機 平面詳細図

